

お知らせ

記者発表資料	令和2年1月24日
配布日時	14:00

■同時発表先：合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、広島県政記者クラブ、中国地方建設記者クラブ



令和元年度 中国地方における重点「道の駅」の選定について
～地方創生の核となる「道の駅」の優れた取組を応援します～

「道の駅」は、地方創生を具体的に実現していくための極めて有力な手段です。国土交通省中国地方整備局においても、関係機関と連携して、地方創生の核となる特に優れた取り組みを選定し、重点的に応援する取り組みを実施しているところです。令和元年度は、地方創生や地域活性化の拠点の形成等を目指した「道の駅」の新たな設置、又はリニューアル等の企画提案を募集したものです。この度、有識者等のご意見を踏まえ、全国で15箇所の重点「道の駅」及び15箇所の重点「道の駅」候補が選定されました。このうち、中国地方整備局管内における重点「道の駅」として、以下のとおり選定されましたので、お知らせいたします。

< 重点「道の駅」(国土交通大臣選定) >

- 道の駅「北条公園」(鳥取県北栄町)

今後の施設整備に向け、駐車場や休憩施設等は社会資本整備総合交付金等で重点支援するとともに、自治体・関係機関による協議会を設け、複数の関係機関の制度の活用等についてワンストップで相談できる体制を構築するなど、ハード・ソフト両面から支援

< 重点「道の駅」候補(中国地方整備局長選定) >

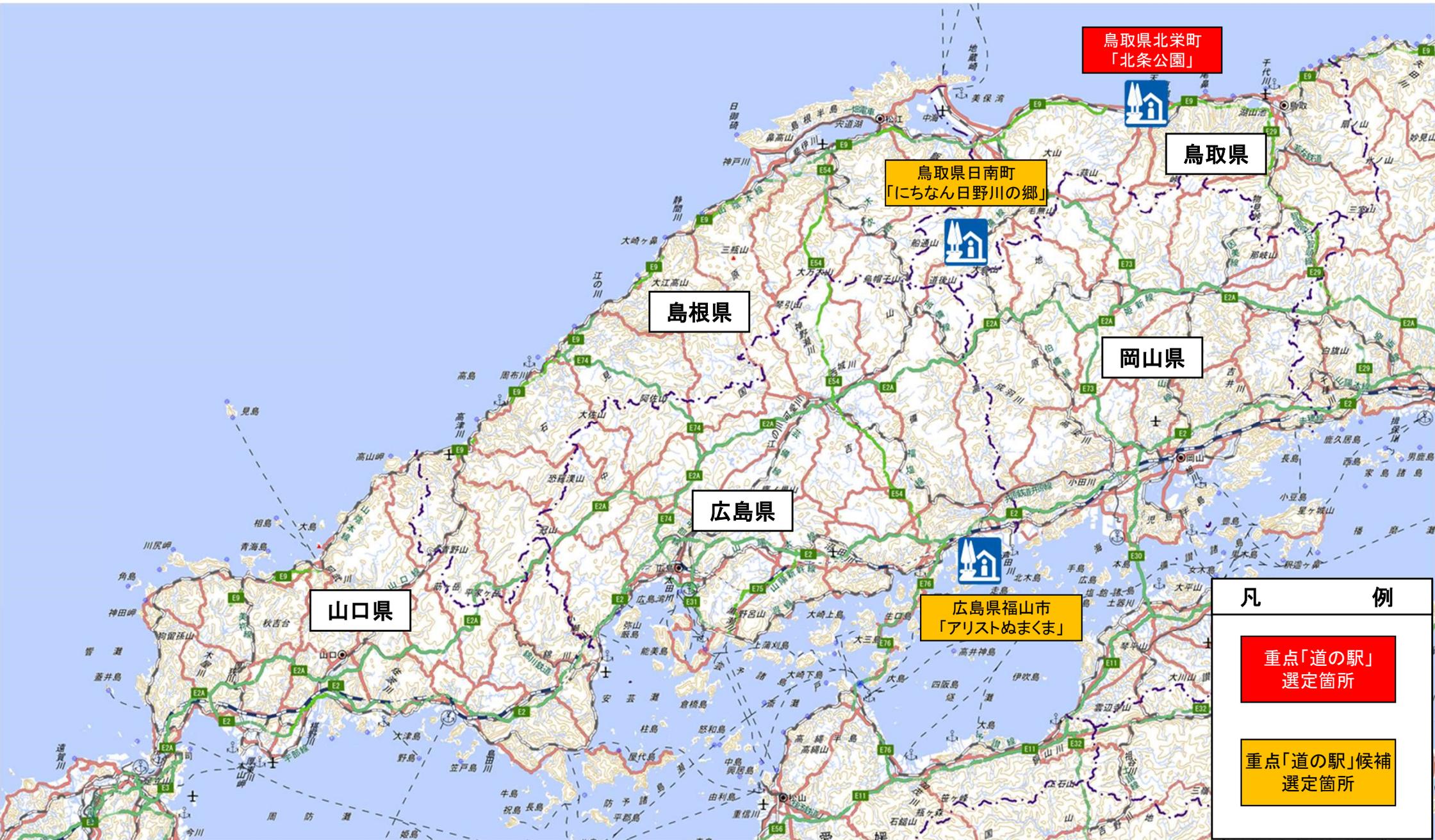
- 道の駅「にちなん日野川の郷」(鳥取県日南町)
- 道の駅「アリストぬまくま」(広島県福山市)

自治体・関係機関による協議会を設け、複数の関係機関の制度の活用等についてワンストップで相談できる体制を構築するなど、主にソフト面から支援。

< 問い合わせ先 >

中国地方整備局 082-221-9231 (代表) : (平日・昼間)
 道路部 交通対策課長 福代智之 (内線4511)
 【担当】道路部 交通対策課長補佐 岡本慎二 (内線4512)
 【広報担当窓口】
 広報広聴対策官 岩下恭久 (内線2117)
 企画部 環境調整官 坂本泰正 (内線3114)

令和元年度選定 中国地方整備局管内の重点「道の駅」・重点「道の駅」候補選定箇所



道の駅「北条公園」(鳥取県北栄町) 企画概要 <既設>

- オートキャンプ場併設の県内唯一の道の駅としてアウトドアエリアを核とした地域振興、子育て応援、防災対応を実施
- 山陰道(北条道路)と国道313号北条JCTの開通に合わせた再整備により、鳥取中部地域の周遊拠点となる道の駅へ
- 高速道路を挟んだ南北双方の一体的な整備によりアクセスを容易に。防災・休憩拠点となる道の駅へ

アウトドアエリアを核とした地域振興、子育て応援、防災機能の充実

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
道の駅「北条公園」	鳥取県	北栄町	山陰道 国道313号	既設	平成5年度	単独型

<現状>

- ・オートキャンプ場を併設する県内唯一の道の駅として、これまで白砂青松の中のオートキャンプサイト、バンガロー宿泊等様々なアウトドア体験の場を提供

<再整備のポイント>

- ・既存施設に加え、バーベキュー棟、交流・多目的ゾーン等の整備により、デイキャンプ等様々なニーズに対応
- ・これらのアウトドア機能を子育て応援、防災等に活用
- ・農業地帯である同町の「砂丘地農業のめぐみ」を発信



【情報発信(道路情報・観光)】

- ・インバウンドも増えつつある中、鳥取中部の玄関口として同地域の観光情報を提供
- ・山陰道と国道313号の結節点に位置することから、東西南方向への詳細な道路情報を提供。山陰道東方面へは、チェーン装着を促す重要箇所として機能

【地域振興】

レストラン・販売施設とオートキャンプ場の連携により、質の高い地元素材を使った料理を手軽にアウトドアで楽しむことが可能



- ・砂丘地農業の恵みを存分に味わうレストラン・飲食施設
- ・新鮮な地元産野菜やブランド化された加工品を扱う販売施設
- ・上記の飲食物等をキャンプ場においても楽しめるサービスの提供

【子育て支援】

オートキャンプ場と道の駅の連携により、子育て世代の様々なニーズに合ったアウトドア体験を提供



- ・手ぶらでのアウトドアが可能なサービスの提供、雨天時でも快適に調理が楽しめるバーベキュー棟の整備
- ・キッズコーナーを休憩コーナーに併設
- ・24時間利用可能で、おむつ替え台、シンク、調乳専用機等を揃えた授乳室
- ・駅舎外に交流・多目的ゾーンを整備

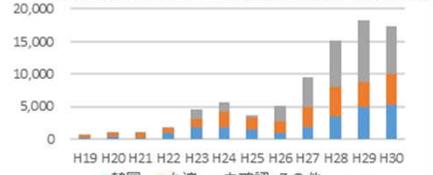
【防災】

南北エリアの広大な敷地、キャンプ施設、駅舎施設等を活用し、防災拠点化を推進



- ・冬季に積雪の多い山陰地方にあって、南北双方の駐車場により、積雪時や事故発生時の速やかな車両待避が可能
- ・キャンプ場の設備・備蓄品、防災倉庫等の充実により、様々な災害に対応する防災拠点として整備
- ・道の駅の機能を止めることなく、災害派遣部隊の受け入れ基地として活用

【町内観光施設(青山剛昌ふるさと館)海外観光客推移】



<提案の先駆性・ポイント>

- オートキャンプ場を併設する県内唯一の道の駅として、アウトドアエリアを道の駅機能の核に
- ✓レストランや直売所との連携により、質の高いアウトドア料理を手軽に楽しむことが可能
- ✓駅舎機能の活用により子育て世代の様々なニーズに合ったアウトドア体験を提供
- ✓災害等発生時には、広大な敷地を活かした駐車場の確保や、キャンプ場施設(宿泊施設、調理場等)・駅舎施設(防災倉庫、トイレ、食料品等)の活用により防災拠点としての機能を発揮
- 冬季に積雪の多い山陰地方にあって、交通の結節点に位置し南北双方に駐車場を有する特性を活かし、車両待避場所・チェーンベースとしての活用を行う

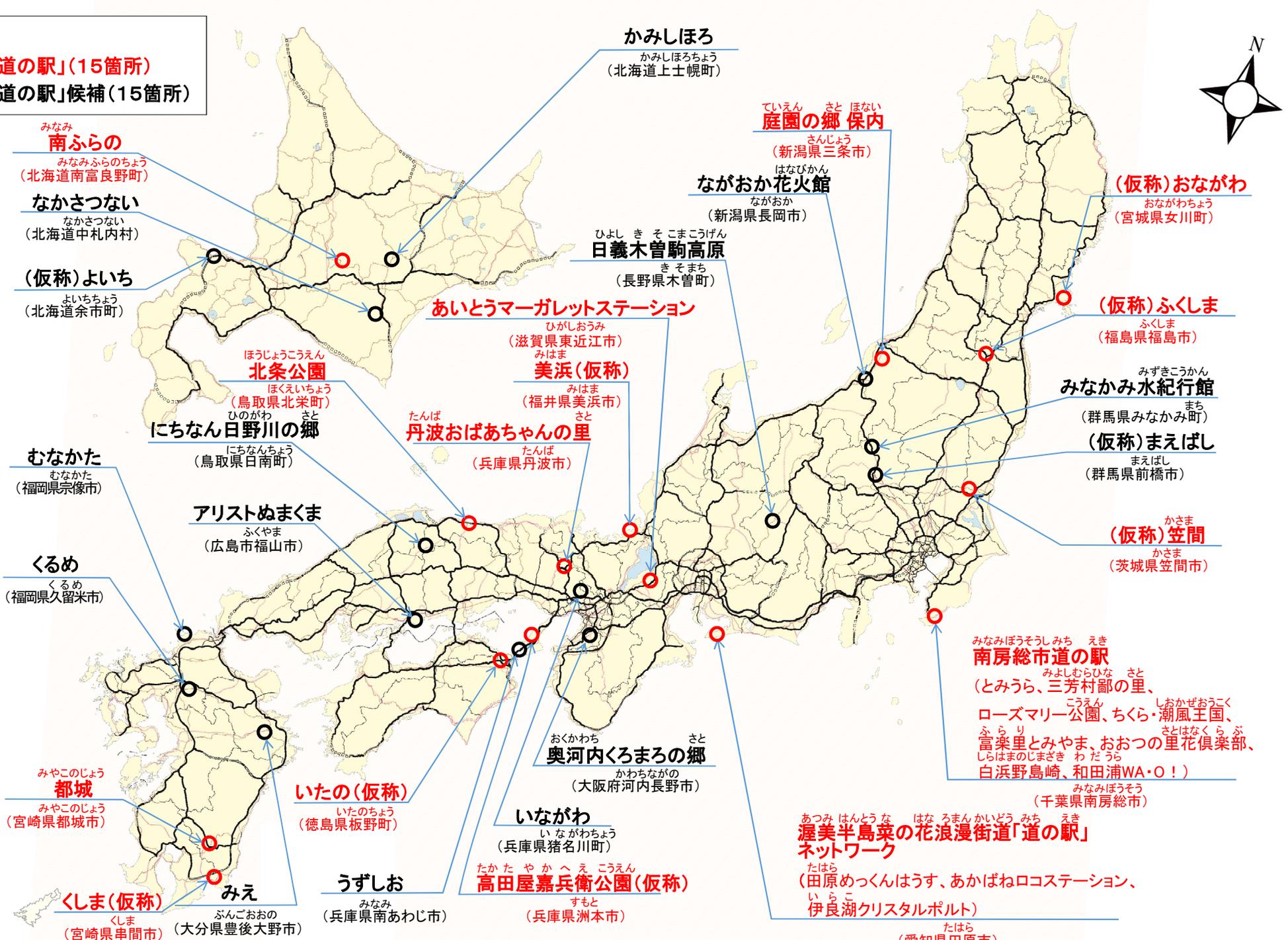
<実施内容>

- アウトドア施設の拡充等により様々なニーズに対応したキャンプ場として整備
- 砂丘地の農産物を活用したレストランや、農産物・加工品販売所の整備
- 天候に左右されず遊べるキッズコーナーや交流・多目的ゾーンの整備
- 広大な敷地やキャンプ備品の活用、防災倉庫等の整備による防災拠点化
- 道路利用者のニーズに応じ、キャンプ場宿泊を含め様々な休憩手段を提供
- 山陰道と国道313号両方の交通情報、気象情報をリアルタイムに提供
- 観光情報の提供及び周辺の観光施設や体験型観光農園との連携

【参考】令和元年度 重点「道の駅」選定結果

凡例

- 重点「道の駅」(15箇所)
- 重点「道の駅」候補(15箇所)



【参考】令和元年度 重点「道の駅」選定駅（15箇所）

番号	都道府県	市町村	道の駅名	企画の概要
1	北海道	南富良野町	南ふらの	<ul style="list-style-type: none"> ○国内有数の体験型観光のフィールドとして、シーニックバイウェイ(日本風景街道)とも連携し、インバウンドを含めた顧客層の多様化に対応した情報発信拠点の整備 ○都市間バスやデマンドバスの交通結節機能を強化し、定住環境維持に寄与 ○おむつや液体ミルクの備蓄により、子育て世代も安心の防災拠点整備
2	宮城県	女川町	(仮称) おながわ	<ul style="list-style-type: none"> ○JR女川駅を中心にコンパクトな市街地を形成し、JR、国道398号、レンガみち等の交通結節点である女川駅前商業エリアを公民連携による運営体制の「道の駅」として、人の流れを集約化し回遊性を高める ○地域観光・震災復興・地域交流の拠点化を図り、交通案内、インバウンド誘客推進、レンタサイクル、震災復興の歩みの伝承、子育て世代への環境整備等により、一体的なサービス提供を行う ○スマートモビリティ活用と充電インフラ整備の両面から地域課題解決と持続可能な低炭素社会構築を推進
3	福島県	福島市	(仮称) ふくしま	<ul style="list-style-type: none"> ○「高速交通網の結節点」という地の利を活かし、東日本大震災・原子力災害からの復興の象徴として、人口減少社会に対する持続可能な地域づくりのため、道の駅を『『実・湧・満・彩』の地域振興の拠点』として位置付け、「集客・交流の新たな拠点」「情報発信の新たな拠点」「地域産業の新たな拠点」の3つの柱とする ○道の駅敷地内に快適で「木質感溢れる(CLT活用)屋内こども遊び場」や24時間利用可能な授乳コーナー、おむつ交換スペースを整備し、地域の子育て世代を応援するとともに、子ども連れの道路利用者への休憩機能を補完する ○平成30年に実施した「東北中央道と『道の駅』の活用による地域活性化社会実験」結果を踏まえ、レンタサイクル(電動アシスト自転車)を整備し、通称「フルーツライン」周辺の果樹畑の景観や日本風景街道登録ルート等の地域資源を活用したサイクルツーリズムを展開する
4	茨城県	笠間市	(仮称)笠間	<ul style="list-style-type: none"> ○ODMOと連携し「笠間」のゲートウェイとして、インバウンドに対応した新たなシステムの導入による観光拠点の形成 ○高速道路と鉄道(駅)と連携した公共交通等の集約による交通結節機能の強化 ○大学との連携による子育て世代の支援と人材育成の推進 ○官学が連携し、主要産業である農業振興の強化
5	千葉県	南房総市	とみうら等 (8駅)	<ul style="list-style-type: none"> ○次世代型「道の駅」を目指す南房総市の挑戦 ○次世代型道の駅推進体制の確立と新たな「地域ビジネス」と「地域の稼ぐ力」の創出 ○市内8つの道の駅の強靱化×地域創生ビジネスネットワーク×老朽化道の駅のリニューアルによる自律的で持続的な魅力あふれる南房総に
6	新潟県	三条市	庭園の郷 保内	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の特性を活かした子育て世代応援事業及びインバウンド観光強化の実施

【参考】令和元年度 重点「道の駅」選定駅（15箇所）

番号	都道府県	市町村	道の駅名	企画の概要
7	愛知県	田原市	田原 めっくんはうす等 (3駅)	<ul style="list-style-type: none"> ○日本風景街道「渥美半島菜の花浪漫街道」にある3つの「道の駅」が連携し、サイクリストの受入拠点、次世代観光の情報発信拠点としての整備を実施 ○これにより日本風景街道第3次アクションプラン「自転車道の活用と整備」等を推進しナショナルサイクルルートの指定に向けた太平洋岸自転車道サイクリストの受入れや、インバウンド観光を促進
8	福井県	美浜町	美浜(仮称)	<ul style="list-style-type: none"> ○2023年春の北陸新幹線敦賀開業を見据え、JR美浜駅前という立地を活かし、道の駅を拠点として美浜町の様々な情報を発信する。さらに、道の駅のみならず、JR美浜駅前を含む周辺開発も進め、一体的に地域活性化の拠点整備を図っていく ○一時預かり機能を有する子育て交流施設を整備することで、子育て世代の育児環境を整え、人口減少に歯止めをかける ○美浜町が誇るブランド「美浜熟成魚」や地元農産物等を活用した商品開発等に取り組み、第一次産業の推進を図る
9	滋賀県	東近江市	あいとう マーガレット ステーション	<ul style="list-style-type: none"> ○道の駅を核にした農業体験型「ガーデンビレッジ」によって、特色・魅力ある地域の拠点づくりを目指す ○農業のレジャー化やイメージチェンジによって、新たな就農者(農業女子)の確保と交流人口を増大させ、農業・農村を活性化させる ○道の駅を広域観光の拠点とし、農業・歴史・文化を体感できる観光のルート化によってインバウンド等の観光客を増大させる ○農業体験メニューの充実により、親子がふれあい、土に親しみ、収穫の喜びや楽しさを感じることで子どもたちの感性や情操を育む ○子育て支援機能を充実し、子育て親子の交流の場の提供と交流の促進を図る
10	兵庫県	丹波市	丹波おばあちゃん の里	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎機能の向上を図り、ゲートウェイ機能を強化する ○ロードサイドホテルの誘致により、新たな来訪者(訪日外国人を含む)の受入を推進する ○観光情報センターを整備し、北近畿・丹波市内の周遊観光を推進する。 ○恐竜遊具など「恐竜ちーたん公園」を整備し、親も子も楽しめる道の駅をめざす
11	兵庫県	洲本市	高田屋嘉兵衛公 園(仮称)	<ul style="list-style-type: none"> ○地域連携DMOとの連携により、日本遺産「北前船寄港地・船主集落」や御食国(みけつくに)淡路島の豊かな農水産物などの地域資源を活かした、周遊・滞在型観光、インバウンド観光を推進し、次世代観光拠点の形成を目指す ○淡路島中央スマートICを活用した高速道路との連携により、淡路島西海岸観光のゲートウェイ機能を強化 ○「アワイチ(淡路島一周サイクリングルート)」のゲートウェイ施設として、サイクリストの快適で安心な利用をサポートする機能を集約 ○ベビーコーナーや移住相談窓口の設置等により、子育て世代や移住希望者を応援

【参考】令和元年度 重点「道の駅」選定駅（15箇所）

番号	都道府県	市町村	道の駅名	企画の概要
12	鳥取県	北栄町	北条公園	<ul style="list-style-type: none"> ○オートキャンプ場併設の県内唯一の道の駅としてアウトドアエリアを核とした地域振興、子育て応援、防災対応を実施 ○山陰道(北条道路)と国道313号北条JCTの開通に合わせた再整備により、鳥取中部地域の周遊拠点となる道の駅へ ○高速道路を挟んだ南北双方の一体的な整備によりアクセスを容易に。防災・休憩拠点となる道の駅へ
13	徳島県	板野町	いたの(仮称)	<ul style="list-style-type: none"> ○日本版DMOであるイーストとくしま観光推進機構を活用した観光資源の発掘、訪日外国人観光客へのサポートなど、次世代観光拠点の形成を図る ○徳島自動車道と高松自動車道の2つのICに近接した立地を活かし、高速道路の連結拠点と休息機能を有する ○子育て支援を目的として各種サービスやベビーコーナー等の設置。高齢者、障がい者支援を目的とした各種サービスや福祉スペースの設置 ○広域拠点として地域防災計画に位置付け、災害時の広域避難場所や支援物資流通配給基地、また支援部隊等の支援基地としての機能、及び災害・ドクターヘリポートの整備など、防災「道の駅」への認定を目指す ○農業者の所得向上と6次産業化や新たな作物づくりへの意欲向上により、農業の継続と発展を図り、次世代の育成を支援 ○自動車の次世代エネルギーとして、EV急速充電器及び水素ステーションの設置
14	宮崎県	串間市	くしま(仮称)	<ul style="list-style-type: none"> ○交流イベントや子育て支援、道守等の地域活動との連携、地域団体のまちなか観光案内により、中心市街地の賑わいを創出するとともに、あらゆる世代が活躍・交流できる地域センター化を目指す ○広域交通の結節点として、公共交通機能の集約と防災機能の強化を図る ○周辺道の駅との交流・連携、サイクリングの拠点施設により、周遊観光の促進と新たな観光需要の拡大を目指す
15	宮崎県	都城市	都城	<ul style="list-style-type: none"> ○物産振興と交流人口の拡大による地域活性化 ○都城広域定住自立圏(3市1町)内の道の駅ネットワークを構築し、圏域全体の産業活性化

【参考】令和元年度 重点「道の駅」候補 選定駅（15箇所）

番号	都道府県	市町村	道の駅名	企画の概要
1	北海道	上士幌町	かみしほろ	<ul style="list-style-type: none"> ○ODMO・周辺「道の駅」・日本風景街道と連携し、広域的な観光情報を発信 ○都市と農村の交流による移住定住のワンストップ窓口を設置し、地域へ活力を誘導 ○交通結節化による定住環境の構築や地域交流の場の創設
2	北海道	余市町	(仮称)よいち	<ul style="list-style-type: none"> ○PFIIにより移転・リニューアルし、高速道路との近接性を活かした休憩機能を充実するとともに、ゲートウェイ・観光ハブ拠点を整備 ○マイカー・レンタカーから路線バスへの乗り換えなど、新たな交通結節点となる地域コミュニティハブ施設を整備
3	北海道	中札内村	なかさつない	<ul style="list-style-type: none"> ○観光協会事務所を移転集約、観光案内窓口の一元化や、多言語対応等によるインバウンド受入体制を整備し観光案内機能を強化。 ○観光協会やシーニックバイウェイ(日本風景街道)と連携し、広域的な次世代観光拠点を形成 ○子育て応援施設を設置するとともに、若い世代・学生が気軽に立ち寄り、買い物・飲食を楽しむ空間づくり
4	群馬県	みなかみ町	みなかみ水紀行館	<ul style="list-style-type: none"> ○ユネスコエコパークに認定されたみなかみの豊かな自然を生かした水上地区観光の魅力の向上 ○情報発信を充実し、インバウンドに対応したサービス提供を強化 ○かわまちづくり協議会やゆけむり街道ルート委員会との連携や、民間事業者・DMOを中心とした拠点施設の魅力向上
5	群馬県	前橋市	(仮称)まえばし	<ul style="list-style-type: none"> ○PFII事業を導入し、早期段階から民間事業者のノウハウを活用 ○ODMOとの連携により、インバウンド対応を含めた次世代型観光拠点の整備 ○地元事業者と連携し6次産業を育成、トリジェネレーションへの取組により次世代型農業を推進
6	新潟県	長岡市	ながおか花火館	<ul style="list-style-type: none"> ○「長岡花火」をけん引役に魅力ある地域資源情報を発信・連携を強化し、地域全体の広域観光・活性化を促進 ○国道や高速道路からの好立地を生かし、情報発信のゲートウェイ形成や高速道路の休憩施設を補完
7	長野県	木曾町	日義木曾駒高原	<ul style="list-style-type: none"> ○木曾駒ヶ岳の眺望を活かし、飲食施設など観光客や地域住民に憩いの場を提供 ○風景街道「こころのふるさと“木曾路”中山道」やDMOと連携し、地域の観光拠点として活用 ○物販(地域スーパー)機能の充実や高齢者ふれあいサロンの整備など、高齢者が気軽に立ち寄れる小さな拠点を形成
8	大阪府	河内長野市	奥河内くろまろの郷	<ul style="list-style-type: none"> ○AIコンシェルジュ配置や観光ハブ化、広域観光情報の発信により、ゲートウェイ型ハブ拠点の整備 ○ウェルネス、生活スタイルに沿った施設機能を強化するとともに、デジタルサイネージの活用や電動自転車充電ネットワーク構築による次世代観光拠点の整備
9	兵庫県	猪名川町	いながわ	<ul style="list-style-type: none"> ○PFIIにより移転・リニューアルし、子育て支援や温浴施設の整備など、施設機能を充実 ○高速道路とのアクセス性を生かし、町内外の利用を促進 ○サイクルステーション等の整備、観光情報発信の強化により、風景街道・道守との連携を強化 ○観光ツアーの起点として、インバウンド・次世代観光拠点を形成

【参考】令和元年度 重点「道の駅」候補 選定駅（15箇所）

番号	都道府県	市町村	道の駅名	企画の概要
10	兵庫県	南あわじ市	うずしお	<ul style="list-style-type: none"> ○サイクルステーション、大鳴門橋自転車道との一体的整備より、四国サイクリングルートとの広域連携を図りサイクルツーリズムを推進 ○施設リニューアルや地域連携DMOと連携した観光情報の発信、インバウンド受入体制・情報発信の強化により次世代観光拠点を形成 ○駐車場不足に対応し、離れた駐車場との移動手段としてグリーンスローモビリティを導入
11	広島県	福山市	アリスト ぬまくま	<ul style="list-style-type: none"> ○地元生産者や企業と連携し、瀬戸内の柑橘や水産物等の6次産業化を推進 ○鞆町山側トンネルやサイクリングロード等の整備を起爆剤にインバウンドにも対応した観光ルートを形成し、情報発信・交流による観光の拠点化
12	鳥取県	日南町	にちなん 日野川の郷	<ul style="list-style-type: none"> ○道の駅を中核にまちを再生するコンパクト・ビレッジを形成、町内全体をつなぐ着地型観光の拠点を形成 ○道路利用者と町民が交流し、新たな産業を創出する拠点を形成
13	福岡県	宗像市	むなかた	<ul style="list-style-type: none"> ○市内外の観光情報の一元化、風景街道との連携により周辺資源の景観、自然、歴史を発信、インバウンドにも対応した情報発信拠点を形成 ○子育て支援施設を充実し、「子育て世代の拠点化」を形成
14	福岡県	久留米市	くるめ	<ul style="list-style-type: none"> ○地域内大規模の集客施設を活用し、「人・モノ・カネ・情報」の循環を生み出すハブ施設にリノベーション ○大型屋根の整備、交流研修室の建替等により、「交流・地域情報の受発信拠点」としての機能強化 ○交流拠点、農産物の販売所の拡充、農業体験や観光情報などの総合窓口、災害時の避難所などに活用
15	大分県	豊後大野市	みえ	<ul style="list-style-type: none"> ○「ジオパーク・エコパークのまち」の中心拠点として、情報発信を充実 ○道の駅を道守・風景街道の活動拠点として活用し、多様な世代間の交流を促進 ○子供を中心とした交流空間を充実し、子供の交流促進と子育てに関する情報を発信 ○南海トラフ巨大地震に備えた地域防災拠点として整備

<参考>令和元年度重点「道の駅」公募概要

公募概要

- 地方創生や地域活性化の拠点の形成等を目指した「道の駅」の新たな設置、又はリニューアル等の企画提案を公募
- 優れた企画があり、今後の重点支援で効果的な取組が期待できるものを選定

公募期間と選定の流れ

- 令和元年8月8日(木)～11月8日(金)

企画提案書の提出

各地方整備局等から推薦

企画提案の評価・選定
(有識者意見を踏まえ実施)

重点「道の駅」の選定

- 重点「道の駅」は全国で15箇所、
重点「道の駅」候補は全国で15箇所を選定

支援内容

<ハード的な支援>

- 道路区域内の駐車場、休憩施設、トイレ、道路情報提供施設等は、社会資本整備総合交付金(直轄国道以外)及び交通安全施設等整備事業(直轄国道)の重点配分等により国交省が支援

<ソフト的な支援>

- 自治体・関係機関による協議会を設け、複数の関係機関の制度の活用等について、ワンストップで相談できる体制を構築。

選定にあたり優先的に評価する事項

- 重点「道の駅」候補からの企画提案
- 以下に関する企画提案
 - ・次世代観光拠点の形成(DMOとの連携、インバウンド観光)
 - ・風景街道・道守との連携
 - ・高速道路との連携
 - ・子育て応援
- 完成年が古い駅のリニューアル

その他

- 計画的な企画検討を促進する観点から、今後も毎年、公募を実施することを予定